

ナレーション完成稿

にっぽん農紀行

「ふるさとに生きる」

～黒川能 魂の奔流～

—山形県編—

① アバン		
	○冬景色	1 <small>やまがたけんがつさん ふもと</small> 山形県月山の麓に、 土地の人々によって 今も大切に 守り続けられている 伝統芸能があります。
	○能舞台	
	○豆腐焼き	2 お祭りのご馳走は 豆腐です。 人々はたくさん 豆腐を焼いて準備します。
	○行列	3 老いも若きも、 みんな、お祭りに 参加します。

	<p>○大地踏み</p> <p>○尋常</p> <p>○能面</p> <p>○冬の月山</p>	<p>4 5歳の子供も 立派に主役を 演じています。</p> <p>5 能面は氏神の化身。 大切に保管されてきました。 中には国宝級の能面も あります。</p> <p>にっぽん農紀行 ふるさとに生きる ～黒川能 魂の奔流～ —山形県編—</p>
--	---	--

② 出羽三山

○松例祭

6 昔から

東北の人々は

はぐろさん がっさん ゆどのさん  
羽黒山、月山、湯殿山を

でわさんざん  
出羽三山と呼び

山岳信仰の対象として

あがめ  
崇めてきました。

○登拝

7 今も夏になると

東北や関東の各地から

参拝のために

月山に登る人々が

後を絶たちません。

③ 黒川の里

○鶴岡市

8 月山の麓に広がる

しょうないへいや  
庄内平野。

その中心・鶴岡市は

人口およそ13万の

田園都市です。

○稲刈り

9 全国でも有数の米の産地

山形県。

なかでもしょうないへいや庄内平野は最も  
米作りが盛んな所です。

○赤川

10 庄内平野を潤すあかがわ赤川。

月山や朝日連峰の

雪解け水を集めて

流れています。

	<p>○黒川</p>	<p>11 鶴岡市の郊外、 赤川の畔に広がる 田園地帯。 ここ黒川地区は 昭和29年まで <small>ひがしたがわぐん</small> 東田川郡黒川村でした。</p>
	<p>○春日神社</p>	<p>12 村の<small>ちんじゅ</small>鎮守、<small>かすがじんじゃ</small>春日神社。</p> <p>13 この春日神社に 室町時代から およそ500年の 伝統を持つ 国指定無形文化財の <small>くろかわのう</small> 黒川能が 伝えられています。</p>

	<p>○能舞台</p>	<p>14 黒川能は 春日神社の氏子たちの手に よって、 代々守られてきました。</p> <p>15 現在の氏子は およそ240戸。 能役者は囃子方を含めて 子供から長老まで およそ160人。</p> <p>16 <small>かみざ</small> 上座と<sup><small>しもざ</small></sup>下座、 二つのグループに分かれ 連綿と受け継がれて 来ています。</p>
--	-------------	--





	<p>○王祇祭の 様子</p>	<p>18 王祇祭は 春日神社の氏神、 つまり<small>おうぎさま</small>王祇様が 上座、下座それぞれの 氏子の家へ赴き、 旧正月の祝宴として 黒川能を楽しみ、 翌日、神社に帰って来る というお祭りです。 黒川の人々が <small>とうや</small>当屋と呼ぶ氏子の家で 能を演じるのが特徴です。</p>
--	---------------------	---